



北足柄小学校学校だより

やま 桜

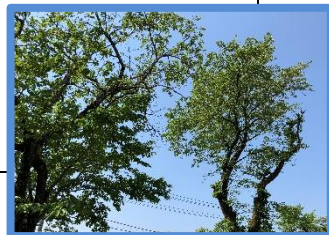
令和2年5月1日
南足柄市立北足柄小学校
第1・2号
校長 藤澤 恭子

校舎の南側にある桜の木は、新緑に衣替えし、北足柄小学校は、美しい緑に包まれています。桜の木に近寄って、葉の大きさを物差しで測ってみました。葉の長い方の長さは、なんと13cmもありました。まだ桜の花が咲いていた4月6日（月）・7日（火）に、子供達に会って以来、長い時間が経ったことを改めて感じました。

長期にわたる臨時休業措置の間における、ご家庭でのご協力に、心より感謝申し上げます。

また、ご心配をおかけしている諸状況について、申し訳なく思います。

子供達の元気な声が、一日も早く学校に戻ってきてくれる、安全・安心な日が来ることを願っています。



ご家庭におかれましては引き続き、健康観察・検温、手洗い・うがい・手指消毒、抵抗力を高める（十分な睡眠・バランスのとれた食事・生活リズムの見直し）、三密（密閉・密集・密接）を避ける、咳エチケット（マスクがある人はマスク着用）等をお願いいたします。

また、デマ情報にふりまわされないよう、偏見や差別につながる行為はしないようお願いいたします。

子供達のいない静まりかえった校舎の中、職員の明るい声が聞こえてくる日があります。はずむような張りのある明るい声で、満面の笑みをうかべながら生き生きとうれしそうに職員が話している相手は…、電話の向こう側、家にいる北足柄小学校の子供達です。

一週間に一回、子供達の声、保護者の方の声をお聞きしながら、職員は元気をいっぱいいただいています。学習のこと、生活のこと等、どうぞご遠慮なくお話しいただき、またご相談ください。

家庭学習の中で 説明学習の継続をお願いいたします

北足柄小学校では、以前より、学習した内容をご家庭で説明することで理解を深めたり定着させたりする「説明学習」にご協力いただけてきました。

臨時休業措置の間、子供達は、プリントやドリル、教育関係の番組視聴等によるインプット活動が多くなっているかもしれません。学んだことを誰かに教えることが、さらなる学習につながります。

「わかったつもり」になっていたことを相手にもわかるように説明するために、なぜそうなるのか理由や原理を考えようとしています。

また、説明をされる側の立場になって、視点を変えてとらえようとしています。相手に伝わるように、言葉や話の順序を工夫します。

「わかった！」にする最良の勉強方法は、他の人に教えること、説明することです。

それから、相手からの「なるほど」「すごい」という反応や質問で、学習はさらにおもしろくなります。本来なら、学校で学習した内容をご家庭で説明することで、説明学習を深めていくところですが、現状では、ご家庭にお願いすることが多くなり申し訳ありません。

子供達の学びが、楽しみながら深まっていくよう、ご協力をお願いいたします。

本年度の学校教育目標 4月7日号外に掲載済み



「自分のよさが輝き、自立する子ども」

今年度も引き続き、

「明日も楽しみな学校」に向けて、「学び合いがある学校」、
「笑顔あふれる学校」、「信頼される開かれた学校」をめ

ざし、教職員が心を合わせて教育活動をすすめてまいります。

そして、小規模校としての少人数教育のよさを生かした教育をきめ細やかに推進して、北足柄小学校の教育活動をさらに充実させていきます。

保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

図書室より 本を貸し出しました 4月7日号外に掲載済み

休業措置の間、子供達が少しでも、有意義な時間が過ごせるように、急遽、図書室の本を、一人最大10冊まで貸し出しました。

図書室入室前の手の消毒、換気、密集を避ける等の対応をして、貸し出しました。

子供達から、読んだ本の感想を聞く日が待ち遠しいです。

ご家庭での安全教育 —情報モラル—

ご家庭での学習方法としてICT（情報通信技術）を活用する機会が、多くなっているかもしれません。

また、子供達が家にいる時間が多いので、学習以外でもICT（情報通信技術）を利用する時間が増えているかもしれません。この機会に、適切にICT（情報通信技術）を活用し、情報社会を安全・安心に生き抜くための能力や態度を育成する機会ととらえていただけるとありがたいです。

ご家庭の中で、子供達が、大人のスマホを手にしたたり、タブレット・パソコン等を扱ったりする際には、神奈川県・神奈川県警察が令和元年12月に作成した『「買う前」『使い始め』が重要お子さんのスマホ利用を見守りましょう』というパンフレット等を参考にいただければ幸いです。

家族で話し合っ、ルールを決める、それを実行し、振り返りをするすることで、子供達をネット依存・被害等から守っていただくようお願いいたします。

ご家庭での安全教育 ー災害等があったら…ー

学校生活の中では、安全教育の一環として、火災や地震や不審者を想定した避難訓練を位置づけています。臨時休業措置の間、子供達が日常的に安心してすごしている場所は、ご家庭かと思われます。各ご家庭で、火災や地震や不審者を想定した安全対策をお子様と話し合ってくださいますようお願いいたします。

今から20年ほど前のことです。我が家で小学生の娘が一人で留守番をしていたのですが、すぐ近くで火災がありました。何台もの消防自動車がかつけ、娘は、すぐ近くで火災があったことは理解していました。

しかし、家から出て、安全な場所に行くなり近所の大人に声をかけるなりして避難することはせず、ずっと家の中に一人でいました。

後で、なぜ、家から出て避難しなかったのか尋ねたら、「きっと、心配して家に電話がかかってくるから、電話の近くで待機していた。」というのです。我が家の電話の位置は、家の中で一番火災現場に近い所でした。

幸い、娘は無事でしたが、「子供にとって家が一番安心できる場所」「電話に自分が対応しなくてはいけない」「連絡が来るまで、勝手に動いてはいけない」等、様々な思いがあったことに親として心が痛くなりました。

「それでも、避難する」ことの重要性は、東日本大震災以降、今尚、語り継がれています。

「それでも、避難する」大切さ、その時の配慮事項をお子様の視点で具体的に予想したり、お子様と話し合ったりしながら、ご家庭での安全教育をすすめていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

児童写真掲載について ご理解とご協力をお願いいたします

今年度も保護者の皆様や地域の方々に、子供達の活動の様子を中心に学校だよりを発行し、本校の教育活動をお知らせしていきたいと思っております。

また、日々の教育活動を「学校だより」「ホームページ」「学級通信」「PTA広報」などでお知らせします。その中で、子供達の活動を写真で掲載させていただくことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

*都合により写真の掲載を承諾されない場合は、教頭までご連絡ください。

読書案内 ー先生からのおすすめの本…

毎年恒例の「先生からのおすすめ本コーナー」を図書コーディネーターの鹿熊さんが図書室廊下側展示スペースに作っていただきました。今年度は、臨時休業措置で子供達がまだ見ることができないので、学校だよりで紹介いたします。

本は、夢と希望の世界へ連れて行ってくれます。実際には行ったことのない所、経験したことがない出来事等に出会うことができます。想像の世界は無限に広がります。

読んだ本の感想や、おすすめの本の紹介を子供達から聞ける日を先生達も、校長先生も楽しみにしています！



先生たちの オススメ本コーナー

2・3年生担任

『ぼくは
なきました』



みなさん、「じぶんの
いいところ」ってどこですか？
「え？ないよ〜。」なんて人、いません
か？ そういう人こそ、ぜひ読んで
みてください。

もったいないからはじめよう！ 4年生担任

もったいないってなんだろう？

ごみを^{すく}少なくしてみませんか。
買う時、^{使う}使う時、^{捨てる}捨てる時の
工夫が書いてあるよ。

どんぐり学級担任

ふまんが
あります



子どもの「ふまん」vs大人の「りゆう」の自然する
戦いに、思わず笑ってしまいます。
ぜひ読んでみてください！

5年生担任

「このほん よんでくれ！」



人間がおとした絵本をひろったオオカミさん。
けれど、字がよめません。読書が^き気になって、
森林のどんぐりたちにたのぞいきます。
「このほん、よんでくれ！」と、
さいごにオオカミさんが絵本をよんで
あげるすがたに、^{こころ}こころがあたたかくなります。

6年生担任

教頭

ごんぎつね

ラストシーンが40年たった今でも
もあいあいと目に浮かんできます。
教科書にものっていますね。何度
もよみかえしてみてください。

「さかさま」
私たちは自分が正しいと信じて
行動する時、それはだれにとっても
正しい、ことなのか考えさせてくれる
一冊です。

事務主事

かいけつゾロリシリーズ



小学生のときにたくさん読んでいました。
お話はもちろん、めいろやなぞなぞなども
あって楽しいです。

栄養士

「救助犬エリーの物語」

子犬のエリーが、いろいろの訓練に
耐え成長する姿にハラハラドキドキ
勇気がかいてます。

養護教諭

『精霊の守り人』

精霊の卵を宿す皇子を守る、女用心棒バルサの
活躍を描く物語。火花を散らす戦いとにかく
刺客や魔物と戦うバルサがかっこいい！
人間の世界と精霊の世界を描いた、ファンタジー
小説です。

※ 北足柄
小学校ホームページで
は、学校便
り等をカラ
ーでご覧
ただけま
す。

教務主任

エルマーのぼうけん

りゅうを助けるに島へ行ったエルマーは、
とちゅうでいろいろな動物に会い食べ
られそうになります。
エルマーは、ちえをしぼってにげようとして
きて、どうやってにげたのでしょうか。

校長

『いのちのおはなし』 日野原重明

「いのち、ってなんだろう？」
「いのちは、きみたちのもっている時間だと
いえますよ。」
「今日、自分の時間をほかの人のために、どれ
くらい使いましたか？」 スキなことばに、あえます。